

空から分かる 桜島火口内温度

水素ガス採取し分析

桜島(鹿児島市)の火口内の温度を、飛行機で採取した火山ガスから測定することに成功したと、名古屋大などの研究グループがこのほど米科学誌で発表した。活火山の場合、火口に近づくことは危険なため温度計を設置することはできない。火山活動の予測につながる」と期待される。

高温下では、火山ガスの成分である水素ガスの重水素同位体の含有率は温度で決まる。研究グループはこの性質を利用。水素ガスは火口から噴出した瞬間に急冷されると、その後は噴出直前の含有率のままであることから水素ガスさえ採取できれば噴出時の火口の温度



今年2月の爆発的噴火から一夜明けた桜島—鹿児島市中で

名大などグループ

度が分かると考えた。研究グループは、2014年9月と12月、軽飛行機を使って火山ガスを採取。重水素同位体の含有率を調べると、噴出時の火口内は少なくとも930度に上っていたことが分かった。マグマと同程度

の温度で、マグマが火口付近まで来ていたとみられる。15年前半は爆発的噴火が頻発、3月に月間最多の178回を観測した。角皆潤教授は「定期的に採取する体制ができれば、火山活動が活発化したり、終息したりする兆候を察知しやすい」と話した。

週刊漢字

読めますか？

① 出師

② 干戈

③ 鶚

■松江沖漁船転覆、4人犠牲
松江市中で14日早朝、田後漁協に所属する底曳丸(76ト)が転覆した。安部(同県境港市)など3人が沈没した大福丸の船長阪本誠さん(36)一兵庫県見、死亡を確認したと発表。乗組員9人のうち、亡くしたのは沖島保司さん(53)ら。行方が分からない乗組員2人(日現在)

＜甲板員＞吉本憲治さん(45)＝岩美町▽杉浦正樹さん(41)＝イ・ヤントさん(21)＝▽榎木賢一さん(45)＝船員＞木下浩さん(39)＝

■新潟で男性巡査が拳銃を誤射
18日午前10時40分ごろ、下町の県警妙高署下町交番室内で、同交番勤務の頭から血を流して倒れていた。見つけた。巡査は病院へ搬送されたが、間もなく死亡した。個室でおり、拳銃が落ちていた。警は巡査が拳銃自殺を疑っている。

県警によると、巡査は拳銃を受け取った後、午前10時50分ごろ、同10時50分に上がった。発見時、瀕死の状態だった。拳銃から発射されていた。

■大佛次郎論壇賞に森・

第16回大佛(おさらぎ)日新聞社主催)が、森教授(44)の「排除と抵抗」ス〈移民〉集住地域の形成(京都大学出版会)に決まった。

■認知症110番

毎日新聞社と認知症予防センターが主催する認知症110番は、毎週2回受け付け。今週は18日午後15時。電話は0120・654111。新年は1月5日(木)から。また財団と提携する精神医学教室の医師にも開設中。順天堂大学に上記フリーダイヤルで予約できるが、認知症相談に回答することで、理解を深め、不安の軽減につながる。

福島第1原発・正門周辺の大気中の環境放射線量

18日正午現在 0.5

数値は東京電力提供。前日は0.5

気温と湿度 18日 最高は16.9度

最高(平年) 最低(平年) 名古屋 14.5(11.1) 2.1

暴力部相撲

校長「問題を過小評価」

日大東北高 顧問の処分検討

日本大学東北高校(福島県郡山市)相撲部で顧問を務める20代の男性教員らがハンマーなどを使って部員に暴力行為を繰り返して来た問題で、同高は18日、事態を重くみて教員の処分を検討すると発表した。19日からは自宅謹慎させる。同高は、暴行で部員が負傷したことを確認後も約5カ月間、クラス担任

や授業を続けさせてきたが、報道を受けて対応を一転させた。松井弘之校長らが同高で緊急の記者会見を開いて経過を説明。教員に対する処分検討やハンマーなどによる暴行の調査が遅れたことについて、松井校長は「(問題を)過小評価していた。私の指導力不足」と謝罪した。

同高によると、男性教員は2015年4月から相撲部の指導を始めた。稽古中、1年生部員に暴行を繰り返して、硬質ゴム製のハンマーで頭をたたいたこともあった。今年5月には稽古後の入浴で裸になったところを撮影したところを撮影したと、この部員は7月末に転校。50代の男性コーチは9月末に退職を進めるとした。

【上江洋範、宮崎樹】

で腕立て伏せをする際にノコギリで脅した。この部員の保護者からの通報で同高は7月に男性教員に聞き取り調査。「行き過ぎた指導」と判断したが、反省文の提出などにとどめていた。

会見で松井校長は男性教員を処分しなかった理由について「前途ある教員だから」と釈明。他の部員に対する暴行については、あいまいな説明を繰り返して、今後の調査で確認を進めるとした。